

1. 有徳の人づくり 2. キッズCOCO 3. 菊川スイーツきくるん 4. Dream 授業

## “ふじのくに”における教育の基本理念

## 「有徳の人」づくりについて御説明します！

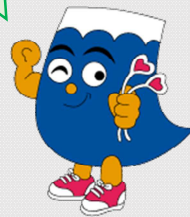
(問合せ先) 静岡県スポーツ・文化観光部



総合教育課

☎054-221-3764

✉sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



◆県の取組紹介

## 「有徳の人」とは

1

知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人

2

多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人

3

「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人

## ◇「有徳の人」づくり

1は、様々なことに興味や関心を持ち、自分の個性を生かしながら、知性や感性、身体能力などを高める努力をする人。例えば、自分なりに勉強やスポーツを頑張る人です。大切なのは、「自分なりに」ということです。

2は、生き方や価値観の違いを認め合い、他人を思いやり、自分や地域、人だけでなくモノや自然を大切にする人。例えば、感謝の気持ちを大切にしたり、社会人の規律を守る人です。

最後に、1と2を合わせて、自らの個性を生かし、自他を大切にする心を持って、助け合いながら社会や人のために行動する人が、3です。

県では、このような「有徳の人」づくりを進めるため、「人づくり推進員」を委嘱しています。人づくり推進員は、学校や地域で開催される「人づくり地域懇談会」で、園児、児童の保護者や地域住民に、子育てやしつけ、家庭や地域における人づくりなどについて助言や啓発を行っています。

「有徳の人」づくり宣言を踏まえ、一人ひとりの中にある「才」と「徳」を高めることを通じ、本県の未来を担う「有徳の人」の育成を社会全体で進められるよう、御協力をお願いします。

## 「有徳の人」づくり宣言

誰一人取り残さない教育を実現し、気品をたたえ、調和した人格をもち、また、「富士」の字義にふさわしい物と心の豊かさをともに実現する「有徳の人」を育成するため、

一、「文・武・芸」三道の鼎立を実現します。

一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。

一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現し、「才徳兼備」の人づくりを進めます。

## ★あなたはたからもの 丸子新田居場所サロン「キッズ COCO」

(運営) 福元 禮子さん (人づくり推進員)、  
自治会、民生委員・福祉委員、  
ボランティアスタッフの皆さん



静岡県駿河区にある丸子新田公民館<sup>まりこしんでん</sup>では、第2土曜日に子どもたちが集まる居場所サロン「キッズ COCO」がひらかれています。人づくり推進員の福元禮子さんは、平成30年に自治会長として高齢者の居場所サロン「ふるさと COCO」を開設し、続けて子どもたちのために「キッズ COCO」をひらきました。

### ◇さあ、みんなが集まった

取材に伺ったのは、新学期が始まったばかりの4月8日。「キッズ COCO」が始まる10時を過ぎると、子どもたちが保護者の方と一緒に集まってきました。「キッズ COCO」の理想は、子どもたちが自由に過ごす時間を見守るという形ですが、この日は保護者の方同士の交流も一つの目的だったようです。小学1年生になったばかりで初めて来た参加者は、少し緊張の面持ちでしたが、福元さんをまねして歌いながら、周りの人にあいさつをしたり、歌に合わせてタッチをしていく中で、自然と笑顔になりました。



歌の後にはスタッフの方の紙芝居が始まりました。穏やかな声で語られる、みんなが幸せになる優しいお話を、子どもたちも保護者の方たちも夢中になって聞いていました。

そのあとは、交通安全指導の時間です。安全な登下校のため、お手製の信号機カードで交通ルールを確認したり、不審者に声をかけられたときの対処法など、命を守るためのお話がありました。

この日は最後に、たくさんの色紙やシールなどを使って、思い思いの作品をつくり、完成後には全員の作品を見てまわりました。1日を通してたくさんコミュニケーションがあり、会場は参加者の皆さんの笑顔があふれていました。



▲スタッフの方による「こびとのくつや」の紙芝居



▲信号機カードを使った交通安全指導 (福元禮子推進員:左)

作品づくりをする参加者の方 ▶

### ◇わたしが「1分の1のわたし」になれる場所

丸子新田の居場所サロンは、たくさんの人の、たくさんの想いが込められた地域コミュニティの核となる場所です。「COCO」には、「個々」や「此处」「戸々」「来々」……など、様々な意味があります。「1/町民総人数」ではなく、「1/1」の大切な個人であることをみんなが理解して、仲間がいる幸せを実感できる場所を目指しています。「キッズ COCO」では、「あなたはたからもの」をキーワードに、取組を通じて子どもたちが友達や家族の存在を感じ、自分は大切にされると実感できるプログラムが考えられています。

福元禮子さんは、学校や幼稚園で先生をしていた経験を生かし、保護者の方に「目をかけ、手をかけ、心をかけ」、寄り添ったりアドバイスができたらと思い、この活動に取り組んでいます。いつでも自由に参加できる居場所は、子どもたちだけでなく、保護者の方たちにとっても心の拠所であり、「たからもの」なのではないでしょうか。

## ★お茶の里のカーニバル 菊川スイーツきくるん

えんしゅうほくとライブ  
(主催) 炎衆北斗TRIBE

座長 永田 隆久さん (人づくり推進員)



今年5月に、菊川市役所(プラザきくる)ときくる広場を会場として、地元の多くのスイーツ店が集まり、小中高生の歌やダンスなどのステージ発表によるイベント「菊川スイーツきくるん」が開催されました。主催はエンターテインメントグループ「炎衆北斗TRIBE」の座長であり、人づくり推進員の永田隆久さんです。

### ◇菊川の魅力大集合

菊川スイーツきくるんは、イベントをきっかけとした地域の活性化を目指しています。当日は永田さんの働きかけで、地元の和菓子・洋菓子店の他、パン屋、コーヒー屋などが大集結しました。多くのお客さんが、かりんとう饅頭やクロワッサンなど購入した地元の有名スイーツなどに舌鼓を打ち、地域の魅力を再発見していました。

きくる広場のステージでは、地域の合唱団や地元高校のダンス部の発表で盛り上がり、炎衆北斗TRIBEのアイドルたちも大活躍していました。炎衆北斗TRIBEは、2003年から永田さんが始めた、よさこいダンスやアイドルパフォーマンス等を行うエンターテインメントグループです。高校生のさっきー ミルキー★メロディXさんを中心に、小中学生がアイドルとして活動をしています。さっきーさんはたくさんのオリジナル曲を持っているのですが、なんとその全ての曲で永田さんが作詞をしています。茶畑の美しさなど菊川の魅力を盛り込んだ歌詞で、ご当地アイドルのプロデュースを通じて地元菊川市を盛り上げています。

### ▼歌って踊るさっきーさん



### ◇すべての子どもたちが活躍できる場

また、菊川スイーツきくるんでは、小中高生が活躍できる場の提供を行っています。ステージ発表以外にも当日の運営スタッフとして、様々な事情で学校から距離をおき、家庭などで学習をしている子どもたちも参加していました。永田さんは菊川市で教育相談員を務めており、そこで知り合った子などに声をかけ、ボランティアをお願いしています。会場で元気に活躍する姿から、永田さんの活動は参加するすべての子どもたちに元気を与え、自信を持つきっかけになっていることがわかります。

永田さんは菊川スイーツきくるん以外にも秋まつりや文化祭、吹奏楽部や合唱団の発表の場など、様々なイベントを主催し企画・運営しています。主催イベント以外にも、炎衆北斗TRIBEは日頃から地域のお祭りへの出演などに取り組んでおり、菊川市を盛り上げるために幅広く活動しています。炎衆北斗TRIBEの今後の活動に要注目です。

茶ラリーマンさん(左)と  
永田さん(右)▶



じゃんけん大会も  
▼大盛り上がりでした



# ★世界への扉を開く“カギ” 未来を切り拓く Dream 授業

(問合せ先) 静岡県スポーツ・文化観光部  
総合教育課  
☎054-221-3764  
✉sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

▼講義の様子 \ 令和6年度も実施予定です! /



県は、「有徳の人」づくりのため、中学1・2年生を対象に「未来を切り拓く Dream 授業」を開催しています。自分の人生の方向を決める大切な時期に、日常生活で触れる機会の少ない一流講師の講義を受講するなど、学校とは異なる学びの場や自らの能力を更に伸ばすきっかけを提供しています。

## ◇令和5年度実施概要

### ①開催概要

日 程	令和5年8月1日(火)～8月4日(金) (3泊4日)
場 所	静岡県総合教育センター(掛川市)
参加人数	県内の中学1・2年生30人(抽選)
主な内容	講義、ALT・過去参加者等との交流、 SPAC俳優による表現指導、 グループディスカッション・発表 (テーマ「理想の学校を作ろう」)

### ②授業講師(敬称略、50音順)

講 師	役職等
渥美 万奈	ソフトボール元日本代表・東京オリンピック 金メダリスト
加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役
川勝 平太	静岡県知事
木南 竜平	近畿大学水産研究所助教
櫛野 展正	アーツカウンシルしずおかチーフプログラム・ ディレクター
高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部教授
矢野 弘典	(一社)ふじのくにづくり支援センター理事長
SPAC劇団員	県立劇団(演劇・舞台芸術)

以上の内容で実施しました。

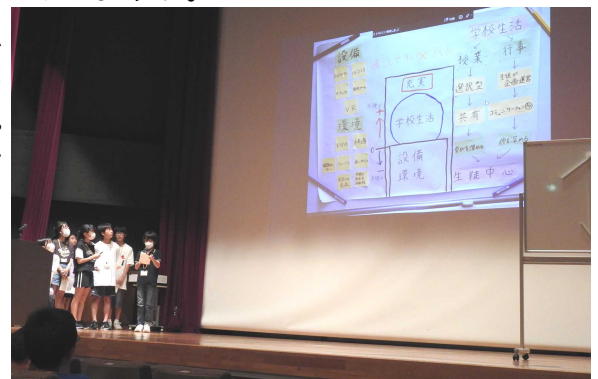
## ◇きっと成長できた夏

集まった30人は、たくさんの講義の受講とグループディスカッションに取り組みました。講義では、川勝知事をはじめ、ソフトボール元日本代表の渥美さんやアーツカウンシルしずおかの櫛野さん、SPACの方々など、各分野で活躍する一流の講師たちから貴重なお話を伺いました。

グループディスカッションでは、6人班で「理想の学校」について話し合い、その内容を模造紙にまとめて工夫を凝らした発表を行いました。

初めて会った人たちと3泊4日を過ごすのはとても大変なことです。集中して講義を聞き、新たな仲間たちと1つのことを協力して成し遂げたことは素晴らしいことです。本人たちはもちろん、送り出してくださった保護者の皆様も不安があったことと思いますが、発表を見たり思い出話を聞く中で、子どもたちの成長を感じられたのではないのでしょうか。

グループディスカッションの成果を、大きなステージで発表しました。



■編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/hitozukuri/index.html>

静岡県の人づくり

検索

